

平成 29 年 度
(2017年度)

香川大学大学院教育学研究科

学 生 募 集 要 項

(修士課程)

(専門職学位課程)

平成28年 4 月

香 川 大 学

平成29年度香川大学大学院 教育学研究科入学試験日程表

| | 出願期間 | 学力検査代替措置の希望者、又出願資格(8)(9)により出願する者の事前審査申請期限 | 障害等のある入学志願者等との事前相談の時期 | 学力検査日 | 合格者発表 | 入学手続期間 |
|-----|--------------------------------|--|-----------------------|-------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| A日程 | 平成28年 7月22日(金) ～7月29日(金) | 平成28年 7月8日(金) 17時まで | | 平成28年 9月10日(土) | 平成28年 9月15日(木) 午前9時 (予定) | 郵送・最終日 平成29年 2月15日(水) |
| B日程 | 平成29年 1月4日(水) ～1月11日(水) | 平成28年 12月7日(水) 17時まで | | 平成29年 1月28日(土) | 平成29年 2月2日(木) 午前9時 (予定) | |
| C日程 | 平成29年 2月13日(月) ～2月17日(金) | 平成29年 1月25日(水) 17時まで | | 平成29年 3月4日(土) | 平成29年 3月16日(木) 午前9時 (予定) | 郵送・最終日 平成29年 3月27日(月) |
| 備考 | | ※高度教職実践専攻には、学力検査代替措置、出願資格(8)(9)の事前審査はありません。 ※外国において、学校教育における16年の課程を修了していない者(例えば、3年制の大学を卒業しているような場合)は、出願資格(9)により出願する者に該当します。 | | | | |

【アドミッション・ポリシー】

(求める人材像)

教育学研究科は、高い責任感と倫理感、豊かな人間性をもった、次のような人を求めています。

- ◎実践的指導力を有し、子ども、同僚、保護者から信頼の得られる教師を目指す人
- ◎学校の創造的変革に寄与でき、学校教育や教育行政のリーダーやミドル・リーダーを目指す人
- ◎学校教育をはじめ、医療、福祉、産業などの分野で、人々の福祉の増進に寄与できる臨床心理士を目指す人
- ◎教育科学や教科内容に関わる高度な専門的な知識と研究能力を身につけることを目指す人、また、研究者を目指す人

目 次

学生募集要項

| | |
|--|----|
| I. 専攻及び募集人員 | 1 |
| II. 出願資格 | 1 |
| III. 出願手続 | 2 |
| 1. 出願期間 | |
| 2. 出願書類等の提出先 | |
| IV. 出願書類等 | 2 |
| 1. 学校教育専攻・教科教育専攻・学校臨床心理専攻（修士課程） | |
| 2. 高度教職実践専攻【教職大学院】（専門職学位課程） | |
| 3. その他 | |
| V. 学力検査代替措置を希望する者及び出願資格(8)(9)により出願する者の事前審査 | 6 |
| VI. 障害等のある入学志願者との事前相談 | 7 |
| VII. 選抜方法 | 8 |
| VIII. 合格者の発表 | 10 |
| IX. 入学手続 | 10 |
| X. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について | 11 |
| XI. 昼夜開講制について | 11 |
| XII. 長期履修学生制度について | 11 |
| XIII. 小学校教員免許取得コースについて | 11 |
| XIV. 短期履修学生制度について（高度教職実践専攻志望者） | 12 |
| XV. 臨床心理士の受験資格取得について（学校臨床心理専攻志望者） | 13 |
| XVI. 出願に関する照会等 | 13 |
| | |
| 教育学研究科の概要 | 14 |
| 本研究科において取得できる免許状 | 17 |
| 香川大学試験場案内図 | |
| 添付書類 | |

平成 29 年 度

香川大学大学院教育学研究科学生募集要項

I. 専攻及び募集人員

| 専攻 | コース | 分野 | 募集人員 |
|-------------------|----------------|-----------------|------|
| 学 校 教 育 | 教育支援 | 教育学, 心理学, 日本語教育 | 12人 |
| | 発達支援 | 幼児教育, 特別支援教育 | |
| 教 科 教 育 | 言語系教育 | 国語, 英語 | 18人 |
| | 社会・生活系教育 | 社会科, 家政 | |
| | 理数・情報系教育 | 数学, 理科, 技術 | |
| | 芸術・スポーツ系教育 | 音楽, 美術, 保健体育 | |
| 学校臨床心理 | — | — | 7人 |
| 高度教職実践 【教職大学院】 | 学校力開発 | — | 14人 |
| | 授業力開発 | — | |
| | 特別支援教育コーディネーター | — | |

※募集人員は、A日程～C日程の合計人数です。

※志望する専攻・コース・分野を一つ選んで出願してください。

※高度教職実践専攻は、3コース一括で入試を行います。専攻のみ選択し出願してください。

II. 出 願 資 格

入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成29年3月までに授与される見込みの者【注1】
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者及び平成29年3月までに指定した者に該当する見込みの者【注2】
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの【注3】
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものと及び平成29年3月31日までに22歳に達するもの【注3】
- (10) 高度教職実践専攻においては、(1)～(9)のいずれかに該当し、かつ教育職員免許状（昭和24年法律第147号）に定める免許状を有する者及び平成29年3月までに取得見込みの者【注4】

【注1】「短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者又はこれに準ずる者で、大学における一定の単位の修得又はこれに相当するものとして文部科学大臣の定める学習を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認める者、又は学校以外の教育施設で学校教育に類する教育を行うもののうち当該教育を行うにつき他の法律の特別の規定があるものに置かれる課程で、大学に相当する教育を行うと認めるものを修了した者」として、独立行政法人大学評価・学位授与機構より学位を授与された者又は授与される見込みの者です。

【注2】文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）に該当する者は、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者で22歳に達したもの」等です。

【注3】5頁の〔V. 学力検査代替措置を希望する者及び出願資格(8)(9)により出願する者の事前審査〕を参照してください。また、外国において、学校教育における16年の課程を修了していない者（例えば、3年制の大学を卒業しているような場合）は出願資格(9)により出願する者に該当しますので、事前審査が必要です。必ず指定の期間までに事前審査の申請をしてください。

【注4】高度教職実践専攻の学校力開発コース、特別支援教育コーディネーターコースは、教職経験のある者のみ出願可能です。

Ⅲ. 出 願 手 続

志願者は、出願書類等を一括し、本学所定の出願用封筒を用いて、下記出願期間中に提出してください。

1. 出願期間

| | |
|-----|----------------------------|
| A日程 | 平成28年7月22日（金）～7月29日（金）期間厳守 |
| B日程 | 平成29年1月4日（水）～1月11日（水）期間厳守 |
| C日程 | 平成29年2月13日（月）～2月17日（金）期間厳守 |

①持参の場合は、受付時間は9時～17時とします。（土日・祝日は除きます。）

②郵送の場合は、「簡易書留・速達」とし、A日程：7月27日（水）、B日程：1月9日（月）、C日程：2月15日（水）までの消印有効とします。

2. 出願書類等の提出先

〒760-8522 高松市幸町1-1 香川大学教育学部学務係

Ⅳ. 出 願 書 類 等

1. 学校教育専攻・教科教育専攻・学校臨床心理専攻（修士課程）

| 書 類 等 | 摘 要 | 該 当 者 |
|-------------------------------|--|------------|
| 入 学 願 書 | 本学所定の用紙により作成してください。裏面の履歴も忘れずに記入してください。 | 全 員 |
| 受 験 票 ・ 写 真 票 | 本学所定の用紙により作成してください。写真は、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 | |
| 成 績 証 明 書 | 出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの ※本学教育学部生（卒業生含む。）は、厳封する必要はありません。 | |
| 卒 業（見込）証明書 | 出身大学長又は学部長が作成したもの | |
| 学 位 記 の 写 し 又 は 学 位 授 与 証 明 書 | 学位授与証明書は、大学評価・学位授与機構が作成したもの | 出願資格(2)該当者 |
| 修 了（見込）証明書 | 在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの | |

| | | |
|---|---|--|
| 学士の学位の授与の申請 を受理した旨の申請書又は 学士の学位の授与を申 請した旨の証明書 | 学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書は、大学 評価・学位授与機構が作成したもの。学士の学位の授与 を申請した旨の証明書は、在籍する短期大学長又は高等 専門学校長が作成したもの | 出願資格(2)該当者 |
| 研究分野調書 | 本学所定の用紙により作成してください。 | 学校教育専攻・教科教育 専攻を志望する方 |
| 研究概要調書 | 本学所定の用紙により作成してください。 | 学校臨床心理専攻を志望 する方 |
| 研究業績調書 | 3年以上(平成29年3月31日現在)の職歴を有する者で、 学力検査の代替を希望する者は、本学所定の用紙により 作成してください。なお、研究業績については、「V. 学 力検査代替措置を希望する者及び出願資格(8)(9)によ り出願する者の事前審査」(6頁)の注1を参照してくだ さい。 | 現職教員等 (学力検査代替措置希望 者) |
| 研究計画書 | | |
| 受験承諾書 | 現に他の大学院に在学している者は、所属大学長又は研 究科長が作成したもの | 大学院在学者 |
| | 現に学校、官公庁、会社等に在職中で、現職のまま入学 しようとする者は、本学所定の用紙により、所属長が作 成したもの | 現職教員等 |
| 長期履修学生申請書 | 本学所定の用紙により作成してください。 ※ⅩⅢ. 長期履修学生制度について(11頁)参照 | 長期履修学生制度希望者 |
| 小学校教員免許取得コース・長期履修学生申請書 | 本学所定の用紙により作成してください。 ※免許状申請に係る単位修得証明書(卒業大学において 発行)を添付してください。 ※ⅩⅢ. 小学校教員免許取得コースについて(11頁)参照 | 小学校教員免許取得コー ス希望者 |
| 在留資格を証明するもの | 旅券の写し、在留カード・住民票の写し(日本に在住の 場合)等 | 外国人留学生として入学 を志願する者 |
| 入学資格審査申請書 | 本学所定の用紙により作成し、各申請期限までに提出し てください。 ※Ⅴ. 学力検査代替措置を希望する者及び出願資格(8) (9)により出願する者の事前審査(6頁)参照 | 出願資格(8)(9)により 出願する者 ※外国において、学校教 育における16年の課程 を修了していない者 (例えば、3年制の大学 を卒業しているよう な場合は、出願資格 (9)により出願する者 に該当します。 |
| 検定料 | 30,000円 ※入学願書と一連の「振込依頼書(入金票)」及び「領収 書」に必要事項を記入の上、A日程は平成28年7月15日 (金)～7月29日(金)、B日程は平成28年12月26日(月)～ 平成29年1月11日(水)、C日程は平成29年2月6日(月) ～平成29年2月17日(金)の間に金融機関(ゆうちょ銀行 を除く。)の窓口で振り込んでください。その際、必ず入 学願書の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてくだ さい。ただし、上記によりがたい場合は、香川大学入試 グループへご照会ください。(電話087-832-1182) ※学力検査代替措置希望者及び出願資格(8)(9)により 出願する者については、事前審査の結果通知が到着した 後、上記の各期限内に振り込んでください。 | 全 員 |
| 受験票等送付用封筒 | 本学所定の封筒に自己の住所、氏名及び郵便番号を明記 し、362円分の切手を貼付したもの | 全 員 |

備考(1) 提出書類のうち外国語で書かれたものには、日本語訳を添付してください。

(2) 現職教員等とは、現に学校、官公庁、会社等に在職している者のうち、平成29年3月31日現在で、3年以上の教職経験等を有する者をいいます。

2. 高度教職実践専攻【教職大学院】（専門職学位課程）

| 書類等 | 摘要 | 該当者 |
|---|--|---|
| 入学願書 | 本学所定の用紙により作成してください。裏面の履歴も忘れずに記入してください。 | 全 員 |
| 受験票・写真票 | 本学所定の用紙により作成してください。写真は、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 | |
| 成績証明書 | 出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの ※本学教育学部生（卒業生含む。）は、厳封する必要はありません。 | |
| 卒業（見込）証明書 | 出身大学長又は学部長が作成したもの | 出願資格(2)該当者 |
| 学位記の写し又は学位授与証明書 | 学位授与証明書は、大学評価・学位授与機構が作成したもの | |
| 修了（見込）証明書 | 在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの | |
| 学士の学位の授与の申請を受理した旨の申請書又は学士の学位の授与を申請した旨の証明書 | 学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書は、大学評価・学位授与機構が作成したもの。学士の学位の授与を申請した旨の証明書は、在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの | |
| 教育職員免許状授与証明書（教育職員免許状の写し可）もしくは免許状取得見込み証明書 | 教育職員免許状授与証明書：免許状を授与した都道府県教育委員会が発行したもの 免許状取得見込み証明書：出身大学長又は学部長が作成したもの | 教育職員免許状を取得している者もしくは取得見込みの者 |
| 志望理由書 | 本学所定の用紙により作成してください。志望動機および2年間の目標（身につけたい力量、解決したい課題など）をまとめてください。 | 全 員 |
| 受験承諾書 | 現に他の大学院に在学している者は、所属大学長又は研究科長が作成したもの | 大学院在学者 |
| | 現に学校、官公庁、会社等に在職中で、現職のまま入学しようとする者は、本学所定の用紙により、所属長が作成したもの | 現職教員等 |
| 長期履修学生申請書 | 本学所定の用紙により作成してください。 ※XII. 長期履修学生制度について（11頁）参照 | 長期履修学生制度希望者 |
| 小学校教員免許取得コース・長期履修学生申請書 | 本学所定の用紙により作成してください。 ※免許状申請に係る単位修得証明書（卒業大学において発行）を添付してください。 ※XIII. 小学校教員免許取得コースについて（11頁）参照 | 小学校教員免許取得コース希望者 |
| 短期履修学生申請書 | 本学所定の用紙により作成してください。 ※XIV. 短期履修学生制度について（12頁）参照 | 短期履修学生制度希望者 ※5年以上の教職経験があり、かつ教育委員会の推薦がある者 |
| 研究業績調書 | 本学所定の用紙により作成してください。 記載した事項の中で、特に重要と思われるもの3件に、重要順に番号（1～3）をつけてください。また、関連資料（指導案、提案資料等）を添付すると共に、研究を通じて修得した資質能力に関して論述してください。 | |
| 職務実績調書 | 本学所定の用紙により作成してください。 記載した事項の中で、特に重要と思われるもの3件に、重要順に番号（1～3）をつけてください。また、修得した資質能力に関して論述してください。 | |
| 教育委員会による推薦書 | 本学所定の用紙により作成してください。 ※所属する都道府県もしくは政令市の教育委員会の承認印が必要です。 | |
| 誓約書 | 本学所定の用紙により作成してください。 ※修学前プログラムについては、入学が決定した場合、入学前の年度末までに、事前相談を行い、教職実践研究計画書を作成する必要があります。 | |
| 検定料 | 30,000円 ※入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上、A日程は平成28年7月15日（金）～7月29日（金）、B日程は平成28年12月26日（月）～ | 全 員 |

| | | |
|-----------|---|-----|
| | 平成29年1月11日(水), C日程は平成29年2月6日(月)～平成29年2月17日(金)の間に金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)の窓口で振り込んでください。その際, 必ず入学願書の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。ただし, 上記によりがたい場合は, 香川大学入試グループへご照会ください。(電話087-832-1182) | |
| 受験票等送付用封筒 | 本学所定の封筒に自己の住所, 氏名及び郵便番号を明記し, 362円分の切手を貼付したもの | 全 員 |

備考(1) 現職教員等とは, 現に学校, 官公庁, 会社等に在職している者のうち, 平成29年3月31日現在で, 3年以上の教職経験等を有する者をいいます。

3. その他

- (1) 出願書類等に不備がある場合は受理しません。また, 出願後の記載事項の変更は認めません。受理した出願書類等は返却いたしません。
- (2) 受験票が, 出願最終日より5日経っても到着しない場合は, 教育学部学務係にお問い合わせください。
- (3) 払込済みの検定料は次の場合を除き, いかなる理由があっても返還しません。
 - ①検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - ②検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 ※上記①又は②に該当される方は, 香川大学入試グループ(電話 087-832-1182)へご連絡ください。
- (4) 出願書類に記載された個人情報(氏名, 生年月日, 性別その他の個人情報)は, 入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。また, 同個人情報は, 合格者の入学後の教務関係(学籍, 修学指導等), 学生支援関係(健康管理, 奨学金申請等)及び入学科・授業料に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。
- (5) 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正が判明した者については, 入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (6) 募集要項を郵送で請求するときは, 返信用封筒(角形2号)に自己の住所, 氏名及び郵便番号を明記し, 215円分の郵便切手を貼ったものを同封の上, 「大学院教育学研究科学生募集要項請求」と朱書きし, 教育学部学務係に請求してください。
- (7) 募集要項及びパンフレットは, 本学大学院教育学研究科のホームページでダウンロードできます。

http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/examination/g-img/boshuuyoukou_h29.pdf

V. 学力検査代替措置を希望する者及び出願資格(8)(9)により出願する者の事前審査

学力検査（外国語科目，専門科目及び音楽実技試験）の代替措置による受験を希望する者又は出願資格(8)(9)により出願する者は，事前審査をしますので，出願書類一式（検定料は除きます。）を下記申請期限までに提出してください。なお，高度教職実践専攻では適用されません。

申請期限

| | |
|-----|--------------------|
| A日程 | 平成28年7月8日（金）17時まで |
| B日程 | 平成28年12月7日（水）17時まで |
| C日程 | 平成29年1月25日（水）17時まで |

- ①持参の場合は，受付時間は9時～17時とします。（土日・祝日は除きます。）
- ②郵送の場合は，「簡易書留・速達」とし，最終日17時までの必着とします。
- ③審査結果は，7月15日（金），B日程：12月21日（水），C日程：2月6日（月）頃までに文書により通知します。

1. 学力検査代替措置による受験を希望する者は，出願書類一式に研究業績調書，研究計画書，研究業績を併せて提出してください。

学力検査に代替しようとする研究業績は，入学を志願する専攻の内容に関わるもの（①学校教育専攻にあつては，学校教育（教育学・心理学・日本語教育・幼児教育・特別支援教育）に関わる分野の業績，②教科教育専攻にあつては，各教科に関わる分野の業績，③学校臨床心理専攻にあつては，臨床心理学に関する業績で，何らかの形で公刊又は公開されたものであることを要します。公刊・公開予定の業績については，そのことを証明する書類を添付してください。

具体的には次のとおりとします。

- ①著書，公開された作品・公演（演奏会）等
- ②学会誌，研究機関等の研究紀要，その他商業誌等に掲載された論文
- ③文部科学省・県・地区等の研究発表会，その他教育・教科等の研究会における研究報告又はその資料
- ④その他これに準ずるもの

提出していただいた研究業績については，返却いたしません。

2. 出願資格(8)(9)により出願する者は，入学資格審査申請書（本学所定の用紙）に記入の上，出願書類一式を提出してください。

VI. 障害等のある入学志願者との事前相談

障害等がある等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある者は、出願に先立ち、あらかじめ本研究科と相談してください。

相談の時期

| | |
|-----|--------------------|
| A日程 | 平成28年7月8日（金）17時まで |
| B日程 | 平成28年12月7日（水）17時まで |
| C日程 | 平成29年1月25日（水）17時まで |

相談の方法

本研究科が指定する以下の書類を提出してください。なお、必要な場合は、追加の書類の提出を求めたり、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うことがあります。

1. 受験上の配慮等申請書（所定様式）

以下のリンクから様式のPDFをダウンロードできます。

http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/examination/g-img/shinsei_h29.pdf

※様式の内容が記載されていれば、所定様式を使わなくて構いません。

2. 現症及び配慮を必要とする具体的な措置等を記載した公的証明書

- ・障害者手帳（コピー）
- ・大学等が発行する所見（現在の大学等での対応内容等も記載すること。）
- ・医師の診断書（コピー）

※コピーとしている書類について、原本の提示を求める場合があります。

①持参の場合は、受付時間は9時～17時とします。（土日・祝日は除きます。）

②郵送の場合は、「簡易書留・速達」とし、最終日17時までの必着とします。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。特に、次表に相当する障害がある者については、申し出がなかった場合、受験上の措置がとられない場合もありますので十分注意してください。次表から判断できない場合は、お問い合わせください。

| 区 分 | 障 害 の 程 度 |
|-----------|--|
| 視 覚 障 害 | 両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの |
| 聴 覚 障 害 | 両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの |
| 肢 体 不 自 由 | <ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの |
| 病 弱 | <ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの |
| そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの （例）発達障害（ADHD、自閉症等）、パニック障害、頻尿 |

VII. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査、出願書類審査等の結果を総合して行います。

(1) 学力検査日

| | |
|-----|---------------|
| A日程 | 平成28年9月10日（土） |
| B日程 | 平成29年1月28日（土） |
| C日程 | 平成29年3月4日（土） |

(2) 学力検査場所 香川大学教育学部（高松市幸町1-1）

(3) 学力検査時間割

| 専 攻 | コース | 外国語科目 | 専 門 科 目 | 口述試験等 | | | |
|-------------|---------------------|----------------|-----------------|--------|---|--|--|
| 学 校 教 育 | 教 育 支 援 | 9 : 00～10 : 00 | 10 : 20～12 : 20 | 13:30～ | | | |
| | 発 達 支 援 | | | | | | |
| 教 科 教 育 | 言 語 系 教 育 | | | | | | |
| | 社 会 ・ 生 活 系 教 育 | | | | | | |
| | 理 数 ・ 情 報 系 教 育 | | | | | | |
| | 芸 術 ・ ス ポ ー ツ 系 教 育 | | | | | | |
| 学校臨床心理 | — | | | | | | |
| 高 度 教 職 実 践 | 学 校 力 開 発 | | | | — | | |
| | 授 業 力 開 発 | | | | | | |
| | 特別支援教育コーディネーター | | | | | | |

(注) 警報の発令等について

1. 試験当日、高松市に大雨、洪水、暴風又は大雪警報が、午前6時30分に発表されている場合又はそれ以降に発表された場合は、学力検査の9時（高度教職実践専攻は10時20分）からの開始はありません。
2. 午前10時の時点で警報が解除された場合は、学力検査を13時（高度教職実践専攻は14時20分）から開始します。
3. 午前10時の時点で警報が継続の場合は、学力検査は翌日に実施します。その際の時間割は当初の予定どおりとなります。

(4) 学力検査科目

| 専攻 | コース | 分野 | 外国語科目 注① | 専 門 科 目 | | 口述試験等 注④ |
|---------------------------------|--------------------|-------|---------------------|---|---|-----------------|
| | | | 必 須 | 必 須 | 選 択 | |
| 学校 教育 | 教育支援 | 教育学 | 英 語 | 教育学 | — | |
| | | 心理学 | 注② | 教育心理学 | — | |
| | | 日本語教育 | 英 語 | 日本語教育 | — | |
| | 発達支援 | 幼児教育 | 英 語 注② | 幼児教育学 | — | |
| 特別支援教育 | | 英 語 | — | ○障害児教育学 ○障害児心理学 ○障害児病理学 ※ 2 科目選択 | | |
| 教 科 教 育 | 言語系教育 | 国 語 | 英語又は中国語 注② 注③ | 国語科教育 | ○国語学 ○国文学 ○漢文学 ○書道 ※ 2 科目選択 | 【実技】 注⑤ |
| | | 英 語 | 英 語 | 英語科教育 | ○英語学 ○英米文学 ※ 1 科目選択 | |
| | 社会・生活系 教育 | 社会科 | 英語又は独語 注② | 社会科教育 | ○歴史学 ○社会学 ○地理学 ○経済学 ○法律学 ○政治学 ○哲学・倫理学 ※ 1 科目選択 | |
| | | 家 政 | 英 語 | 家庭科教育 | ○食物学 ○被服学 ○家庭経営学 ○保育学 ○住居学 ※ 1 科目選択 | |
| | 理数・情報系 教育 | 数 学 | 英 語 | 数学科教育 | A (代数学, 幾何学, 解析学) B (数学教育, 代数学, 幾何学, 解析学) ※ A, B からそれぞれ 1 科 目選択 | |
| | | 理 科 | | 理科教育 | ○物理学 ○化学 ○生物学 ○地学 ※ 1 科目選択 | |
| | | 技 術 | | 技術科教育 | ○情報 ○電気 ○機械 ※ 1 科目選択 | |
| | 芸術・スポーツ系 教育 | 音 楽 | 英 語 注② | 音楽科教育 I 注⑥ i | ○音楽科教育 II 注⑥ (i) ○音楽学 ○器楽 ○声楽 ※ 1 科目選択 | 【実技】 注⑥ (ii) |
| | | 美 術 | | 美術科教育 | 注⑦ | |
| | | 保健体育 | | 保健体育科 教育 | ○体育学 ○運動学 ○学校保健 ※ 1 科目選択 | |
| 心 学 校 臨 理 床 | — | — | 英 語 注② | 臨床心理学 | — | |
| 実 高 度 教 職 教 育 | 学校力開発 | — | — | 小論文 | — | 注⑧ |
| | 授業力開発 | | | | | |
| | 特別支援教育 コーディネーター | | | | | |

- 注 ①外国語科目は、専攻・コース・分野ごとに出題し、辞書（電子辞書は不可）の持ち込みを認めます。ただし、言語系教育コースの英語分野を志望する方は、辞書の持ち込みは認めません。
- ②外国人留学生として入学を志願する者は、外国語科目を「日本語」に代替することができます。
- ③言語系コースの国語分野の外国語科目については、母国語での受験は認めません。
- ④外国人留学生として入学を志願する者については、口述試験の中で日本語の基礎能力をみます。
- ⑤国語分野において、書道を選択した場合は実技試験があります。
- ⑥(i)音楽科教育Ⅰは基礎的・一般的内容、音楽科教育Ⅱは専門的内容です。
(ii)実技試験（学力検査代替措置が認められた者は免除。）
《実技試験細目》

| | |
|--------------|---|
| 音 楽 科 教 育 | 任意の楽器による簡単な自由曲、またはピアノによる簡単な弾き歌いのいずれか一方を選択し演奏してください。 |
| 音 楽 学 | |
| 器楽（ピアノ・木管楽器） | 任意の器楽曲を暗譜で演奏してください。 ピアノ伴奏者が必要な場合は、受験者が同伴してください。 |
| 声 楽 | 任意の声楽曲を暗譜で演奏してください。 ピアノ伴奏者が必要な場合は、受験者が同伴してください。 |

※1科目選択です。
※演奏時間は10分程度とし、途中で打ち切ることがあります。
※実技試験終了後に口述試験を行います。

- ⑦美術分野においては、受験者が制作した作品又は作品の写真・説明資料を提出してください。（提出作品3点以内。作品は学力検査日に持参し、写真・説明資料は出願時に提出してください。）ただし、デザインに関して、受験者の申し出によっては、実技試験を行います。
- ⑧高度教職実践専攻では、調書をもとに口述試験を行います。

Ⅷ. 合格者の発表

| | |
|-----|-------------------|
| A日程 | 平成28年9月15日（木）午前9時 |
| B日程 | 平成29年2月2日（木）午前9時 |
| C日程 | 平成29年3月16日（木）午前9時 |

教育学部内掲示板に掲示するとともに、合格者へは合格通知書を送付します。また、本学のホームページ上に合格者の受験番号を掲載します。なお、電話による照会には応じません。

【香川大学ホームページ：<http://www.kagawa-u.ac.jp/>】

※ホームページ掲載は、本学の情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は教育学部キャンパス掲示板、合格通知書にて行います。

Ⅸ. 入学手続

A日程及びB日程合格者は、平成29年2月15日（水）までに、C日程合格者は平成29年3月27日（月）までに入学手続を完了しなければなりません。詳細については、合格者に別途郵送します。所定の期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

なお、学生納付金については以下のとおりです。入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改訂時から新たな納付金額が適用されます。

- (1) 入学料 282,000円（予定）
払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
①入学手続を行わなかった場合
②入学料を誤って二重に払い込んだ場合
- (2) 授業料 前期分 267,900円（予定） 後期分 267,900円（予定）
前期分の授業料については、平成29年4月1日～5月31日までの間に納付してください。また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

- (3) 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、平成29年4月1日付けで入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

X. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について

履修方法として、第1年次は在職校等における勤務を離れて大学院での学業に専念し、修了に必要なとされる32単位のうち、24単位程度を取得し、第2年次は在職校等に復帰し、夜間及び夏季・冬季休業中並びに特定曜日に通学して残りの単位を取得するとともに、修士論文の作成のための指導を受けるものとします。高度教職実践専攻では、適用されません。

また、学校臨床心理専攻では、臨床心理士の受験資格を得るために必要な実習を第2年次に年間を通して昼間に行う必要があります。同専攻に入学を希望する場合は、学務係(大学院担当)まで事前にご相談ください。

XI. 昼夜開講制について

学校教育専攻、教科教育専攻については、夕方・夜間の5時限（16:20～17:50）、6時限（18:00～19:30）の履修、土曜日、夏季・冬季休業中及び必要に応じ指定した日時等の授業の履修及び長期履修学生制度を活用することによって、職業等を継続しながら修了要件を満たすことが可能です。

XII. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度の対象となるのは、職業を有している等の事情により、研究科の標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する者です。

この制度では、2年間で設定されている教育課程を4年間を上限として履修計画を立て、長期履修学生として在籍することが可能です。長期履修学生として認められた場合の授業料は、履修期間にかかわらず、原則として2年間に支払うべき授業料総額を3年間又は4年間に分割して支払うことになります。

長期履修学生制度の適用を希望する者は、出願時に、次の申請書類を提出することになります。

- ①長期履修学生申請書（本学所定の用紙）
- ②在職証明書等（様式は任意で、在職等が確認できる書類）

XIII. 小学校教員免許取得コースについて

1. 本コースの概要

本コースは、3年間の長期履修学生制度を活用して小学校教諭免許状を取得するコースです。大学院で学びながら、学部において開設している小学校教諭免許状の所要資格を得るための授業科目を履修することにより、小学校教諭専修免許状の取得が可能となります。学部レベルの教員養成カリキュラムを受講しながら、かつ修士レベルの高度な教育実践力及び専門的な知識の習得を目指します。

2. 履修方法・修業年限

本コースの受講を許可された者は、学部の授業科目と大学院の授業科目を履修するため少なくとも3年間の在学期間を必要とします。このため、長期履修学生制度を適用し、修業年限が3年間となります。

なお、修学途中で本コースの受講を中止することも可能ですが、その場合は標準の2年の修業年限となります。

3. 受講学生数

本コースの募集人員は、各専攻・専修で若干名です。

4. 受講申請資格

本大学院に出願する者で、小学校教諭免許状を所持していない者です。同免許状を取得見込みの者は申請できません。ただし、高度教職実践専攻を志望する者は、中学校・高等学校などの教員免許状保持者（取得見込み者を含む。）に限ります。

5. 受講申請

本研究科所定の「小学校教員免許取得コース受講・長期履修学生申請書」に必要事項を記入し、出願時に提出してください。

6. 受講可否の決定方法

受講の可否については、面接により決定します。教職への意欲等を重視します。

なお、受講が不許可になっても、本研究科の入学者選抜試験合格者の合格は取り消されません。この場合は3年の長期履修ではなく、通常の修士課程2年の修業年限となります。

7. 免許状取得要件

小学校教諭一種免許状を取得するための要件は、免許法の基準のみでなく、原則として、本学の学部学生に対する要件と同じとします。

8. 授業料

長期履修学生制度を適用するため、3年間に在学しても授業料は2年間の通常の授業料負担となります。また、小学校教諭免許状取得に必要な学部等の開設科目（教育実習を含む。）の履修に関わる授業料は徴収しません。

XIV. 短期履修学生制度について（高度教職実践専攻志望者）

本制度は、5年以上の教職経験があり、かつ教育委員会の推薦があることを条件に申請できる制度です。厳正な審査により認められた者は、1年間の履修によって修了することができます。

この制度に申請する場合は、短期履修学生申請書のほかに、研究業績調書、職務実績調書、教育委員会による推薦書、誓約書を提出してください。これらの申請書類により審査を行い、認められた場合は、実習科目4単位が免除となり、1年間の履修計画を立てて、短期履修学生として在籍します。また、授業料は1年間のみとなります。

高度教職実践専攻として、短期履修を認めるにあたり、修了生の資質保証を確保するため、次の3つの課題が必須となります。

- (1) 教職大学院修学前プログラム（入学後のスムーズな修学を保证するもの）
- (2) 学校臨床実習代替レポート（入学前の実績と前期までの修学を通じて高度教職実践専攻としての十分な学修成果を短期履修で保証できるか確認するもの）
- (3) 教職大学院フォローアップ・プログラム（「理論と実践の融合」を定着させ、「学び続ける教員像」を浸透させるためのもの：短期履修学生は最低1年間のフォローアップが義務づけられる）

その概略は、次のとおりです。



XV. 臨床心理士の受験資格取得について（学校臨床心理専攻志望者）

学校臨床心理専攻は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会により平成25年4月から臨床心理士養成の第1種指定大学院に認定されました。この専攻に入学・修了した者で、同協会の定める必修科目、選択必修科目を取得し、臨床心理学に関する修士論文を作成した者は、臨床心理士の受験資格を得ることができます。

XVI. 出願に関する照会等

出願に際して、問い合わせ等がありましたら、下記にご連絡ください。

| | | |
|-----------|-----------------|-------------|
| 〒760-8522 | 高松市幸町1番1号 | 香川大学教育学部学務係 |
| | 電話 087-832-1404 | |

教育学研究科の概要

■学校教育専攻

| | | |
|---------|----------|---|
| 教育支援コース | 教育学分野 | 生涯学習を視野に入れながら，初等・中等教育を中心に，教育活動，学習活動の本質を理解するとともに，学校，家庭，地域社会において教育の諸問題を解決する方途を探求する能力を育成する。 |
| | 心理学分野 | 個人，学級，学校，地域という各水準から捉えた子どもの発達，学習，適応などに関する心理学の実証的知見をもとに，教育と発達を心理学の視点から再分析し，組み立て直してみる機会を提供するとともに，新たな教育実践力を育成する。 |
| | 日本語教育分野 | 世界のグローバル化にともなう国内外の日本語学習者の増加や，多様な学習需要に対応できる日本語教員を養成する。日本語や日本語教育について研究を行い，日本語指導が必要な子どもおよび国内外の学習者に，日本語を指導する教育実践力を育成する。 |
| 発達支援コース | 幼児教育分野 | 人間の生涯にわたる発達と教育を視野に入れつつ，幼児の心理や発達，幼児教育の目標や内容，教育計画や方法，制度や歴史について専門的に研究し，優れた実践的指導力を育成する。 |
| | 特別支援教育分野 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害児教育学，障害児心理学，障害児病理学に関する高度な教育・研究を基盤に据えて，教育科学としての特別支援教育に関する総合的かつ高度な研究能力を育成する。 ・特別支援教育に関する教育課程，学習指導，教材，授業法等の研究を通して，高度な研究実践力を育成する。 ・特別支援教育諸分野における教材・教具の活用及び開発の能力を修得させる。 |

■教科教育専攻

| | | |
|-------------|-------|---|
| 言語系教育コース | 国語分野 | <ul style="list-style-type: none"> ・国語学，国文学，漢文学及び書道の各分野における高度に専門的な研究を基盤に据え，それらを国語教育の立場から総合的に修得させる。 ・地域的特色を研究と教育に生かし，それを基とした新しい教材開発を推進する。 ・国語科教育として必要な，高度な理論的研究能力と教育実践力の育成を図る。 |
| | 英語分野 | <ul style="list-style-type: none"> ・英語学，英米文学の分野における高度に専門的な研究を基にして，英語教育に関する総合的かつ高度な研究能力を養成する。 ・英語科教育に関する諸問題を教授法分析，教材研究，授業研究等の観点から通時的，共時的に考究することによって高度な研究・実践能力を養成する。 ・英語科教員としての実践力の向上を図り，指導的立場に立って英語教育を推進し得る人材を養成する。 |
| 社会・生活系教育コース | 社会科分野 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史学，地理学，法学・政治学，経済学，社会学，哲学・倫理学の各分野に関する高度な教育・研究を基盤に据え，教育科学としての社会科教育に関する総合的かつ高度な研究能力を養成する。 ・社会科教育に関する教育課程，学習指導，教材研究，授業研究等を通して高度な教育実践力を養成する。 ・社会科教育諸分野における教材・教具の活用及び開発の能力を修得させる。 |
| | 家政分野 | <ul style="list-style-type: none"> ・食物学，被服学，家庭経営学，保育学，住居学の各分野に関する高度な教育・研究を基盤に据え，教育科学としての家庭科教育に関する総合的かつ高度な研究能力を養成する。 ・家庭科教育に関する，教育課程，学習指導，教材研究，授業研究等を通して，高度な教育実践研究能力を養成する。 ・家政教育諸分野における教材・教具の活用及び開発の能力を修得させる。 |

| | | |
|---------------|--------|--|
| 理数・情報系コース | 数学分野 | <ul style="list-style-type: none"> 代数学，幾何学，解析学，応用数学の各分野における専門的研究を探るとともに，数学教育の立場から文化としての数学を考究する。 学校数学についての理論的研究能力と教育実践力を総合的に育成する。 数学科教育に関する教育実践力の向上を図り，数学教育の進展に寄与し得る指導的人材を養成する。 |
| | 理科分野 | <ul style="list-style-type: none"> 物理学，化学，生物学，地学の各分野に関する高度な教育・研究を基盤に据え，教育科学としての理科教育に関する総合的かつ高度な研究能力を養成する。 理科教育に関する，教育課程，学習指導，教材研究，授業研究等を通して，高度な教育実践力を養成する。 理科教育諸分野における教材・教具の活用及び開発の能力を修得させる。 |
| | 技術分野 | <ul style="list-style-type: none"> 情報化社会に対応し得る情報教育の基礎を養うための教育内容及び方法を研究する。 電気，機械（木材加工を含む。），情報の各分野に関する高度な専門的知識及び方法論を技術教育の立場から総合的に把握させることを目指す。 地場産業ないし地域産業を考慮した新しい教材を開発し，自主的に教材を編成できる能力を身につけさせ，技術教育に関して高度な教育実践力と理論的研究能力の育成を図り，技術教育の進展に寄与し得る指導的人材を養成する。 |
| 芸術・スポーツ系教育コース | 音楽分野 | <ul style="list-style-type: none"> 音楽科教育学，器楽，声楽，音楽学等の各分野から選択して専門的な研究を行う。 音楽科を担当する教員に求められる専門的技量と知見及び授業開発能力の高度化を基に，教育実践力と教科の諸課題に対応できる豊かな研究能力の向上を図り，広く音楽教育の進展に寄与し得る人材を育成する。 生涯学習の時代を迎え，音楽教育を通して，地域の芸術・文化の向上に貢献できる人材を育成する。 |
| | 美術分野 | <ul style="list-style-type: none"> 絵画，彫刻，工芸，デザイン等の各分野に関する教育・研究を基盤に据え，美術科教育に関わる内容を深め，美術科教員として必要な教育実践力の向上を図る。 美術科教育に関する学習指導，教材開発研究，授業研究等の諸問題を高度な教育と研究を通して解明し，美術教育の進展に寄与し得る指導的人材を養成する。 美術科教育の内容を深め，人間の尊厳の精神を養い，芸術文化への深い洞察力を修得させる。 |
| | 保健体育分野 | <ul style="list-style-type: none"> 体育学，運動学，学校保健の各専門分野に基盤を置きながら，保健体育科教育学に関する理論と実践の学習を通して，保健体育科教員として必要な教育実践力の向上を図る。 学校体育に関する教育実践力と理論的研究能力の育成を図りつつ，学校体育に関わる諸問題を高度な教育・研究を通して解明し，保健体育教育の進展に寄与し得る指導的人材を養成する。 体育，スポーツ，健康諸科学の最新の研究成果を基に，それら個別科学領域の統合化を図りながら，保健体育科教育の内容を深める。 |

■学校臨床心理専攻

- いじめや不登校といった教育臨床的諸問題，虐待や家庭内暴力といった福祉に関わる問題，一般成人の対人関係にまつわる悩みや適応上の問題などへの支援ができる臨床心理士を養成する。
- 臨床心理学に関する理論的学習と実践的体験学習，附属の心理臨床相談室及び学外の多様な臨床心理関連施設での実習などを通して，高度な臨床実践力を育成する。

■高度教職実践専攻

これからの学校教育を担う者は、子どもの発達に関する確かな知見，教育に関わる確かな専門性に立脚した分析力・構想力と，新しくかつ複合的な学校課題や教育課題を括り出して対象化し，協働的な実践・省察をもとに組織的に対応できる実践力が求められる。

高度教職実践専攻では，こうした資質や実践力を，教育実践現場をフィールドとした実践的研究による理論と実践の往還を通して育成し，教員集団と学校全体を質の高い組織として高めていくことに貢献できる教員を養成することをめざす。高める専門分野に応じて，学校力開発コース，授業力開発コース，そして，特別支援教育コーディネーターコースの3コースを設ける。いずれのコースにおいても，複雑・多様化する学校教育の課題に対応しうる高度な専門性と実践力の高度化をめざす。

・学校力開発コース

本コースでは，組織としての学校をボトムアップの視点からも検討し，実践的に学ぶことを重視する。学校経営の視点は，学校管理職のみに求められるものではなく，将来的に学校経営を担うであろう中堅教員にも求められる。そこで，本コースでは，学級経営・学年団経営や学校経営を含めた現代に求められる学校力開発の中核的役割を担いうるスクールリーダーと幅広い視野を有し複合的思考ができる中堅教員を養成する。

・授業力開発コース

教師がもっとも時間を割いて取り組む教育活動は「授業」である。社会の様々な変化に応じて，授業で扱う学習内容も，子どもの実態も大きな変化を見せている。そこで，本コースでは，今の時代に求められる「授業」の姿を追究しながら，確かな実践的指導力としての授業力を養成することをめざす。あわせて，道徳教育や授業力向上等の学校課題解決に向け，教育実践を構想し開発するための展望と力量をもつ実践的指導力のある教員を養成する。そのために，協力校での授業実践とその省察を柱としたカリキュラムを構成し，学校現場の課題から学ぶ活動を中核に置く。

・特別支援教育コーディネーターコース

特別な教育的支援を必要とする子どもは増加傾向にあり，これに対応することは，学校教育全体にわたる課題となっている。本コースでは，本学教育学研究科が設置している特別支援教室「すばる」や附属特別支援学校における指導事例の検討や実習，発達障害に関わる医療・療育機関等における実習など，演習と実習に重点を置いたカリキュラムを構築し，小・中学校での特別支援教育を推進する中核となる教員を養成する。

本研究科において取得できる免許状

| 専攻名 | 取得できる免許状 | |
|----------|---------------|---|
| | 種類 | 教科等 |
| 学校教育専攻 | 小学校教諭専修免許状 | |
| | 中学校教諭専修免許状 | 国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，書道，保健体育，家庭，工業，英語 |
| | 幼稚園教諭専修免許状 | |
| | 特別支援学校教諭専修免許状 | 特別支援教育領域：知的障害者，肢体不自由者，病弱者 |
| 教科教育専攻 | 小学校教諭専修免許状 | |
| | 中学校教諭専修免許状 | 国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，書道，保健体育，家庭，工業，英語 |
| 学校臨床心理専攻 | 小学校教諭専修免許状 | |
| | 中学校教諭専修免許状 | 国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，書道，保健体育，家庭，工業，英語 |
| | 幼稚園教諭専修免許状 | |
| 高度教職実践専攻 | 小学校教諭専修免許状 | |
| | 中学校教諭専修免許状 | 国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，英語 |
| | 高等学校教諭専修免許状 | 国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，書道，保健体育，保健，看護，家庭，情報，農業，工業，商業，水産，福祉，英語 |
| | 幼稚園教諭専修免許状 | |
| | 養護教諭専修免許状 | |

| | |
|------|--|
| 受験番号 | |
|------|--|

(A日程・B日程・C日程) ※該当する試験日程を○で囲んでください。

平成29年度香川大学大学院教育学研究科入学願書

| | | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|-------------|---------|----------------------|-------------|
| ふりがな | | | 性別 | 生 年 月 日 | | |
| 氏 名 | | | 男 ・ 女 | 年 | 月 | 日生 (満 歳) |
| 志 望 (注2) | 専 攻 | ※高度教職実践専攻を志望する現職教員は、志望コースを第2志望まで記入すること。 | | | | |
| | コ ー ス | 第1志望 | | | | |
| | 分 野 | 第2志望 | | | | |
| 出願資格 | 出身大学名等 | | 課程 | | | |
| | 大学 | 学部 | 学科 | 専攻 | | |
| 現住所 | 〒 - | | 電話番号 () - | | | |
| 通知を受ける場所 | 〒 - | | 電話番号 () - | | | |
| 所有する (取得見込 も含む) 教育職員 免許状 | 学校種別 | 区 分 | 教 科 名 | 学校種別 | 区 分 | 教 科 名 |
| | 学校 | 種 | | 学校 | 種 | |
| | 学校 | 種 | | 学校 | 種 | |
| | 学校 | 種 | | 学校 | 種 | |
| 現 職 等 (注3) | 1 小学校教諭 2 中学校教諭 3 高等学校教諭 4 幼稚園教諭 | | | | | |
| | 5 特別支援学校教諭 6 民間会社員 7 官公庁職員 8 その他 () | | | | | |
| | 職 歴 | 年 月 | 勤 務 先 | | | |
| | 教育方法の特例適用希望の有無(注4) | | 有 ・ 無 | | | |
| 短期履修学生制度適用希望の有無(注5) | | 有 ・ 無 | | | | |
| 長期履修学生制度適用希望の有無 | | 有 ・ 無 | | | | |
| 小学校教員免許取得コース希望の有無 | | 有 ・ 無 | | | | |
| 受験科目 (注6) | 外国語科目 | | | | 研究業績 等による 代替希望 | 有 ・ 無 |
| | 専門科目 | | | | | |
| | ※選択科目を記載 | | | | | |
| | 実技試験 | | | | | |
| 口述試験 | 志望専攻・コース・分野ごとに実施 | | | | | |

- ◎裏面に詳細な学歴及び職歴を記入してください。
(注) 1. 受験番号欄は記入しないでください。
2. 志望欄は、学校教育専攻、教科教育専攻を志望する者は専攻・コース・分野名を記入してください。学校臨床心理専攻、高度教職実践専攻を志望する者は、専攻名のみ記入してください。
3. 現職等欄は、該当する番号を○で囲み、平成29年3月31日現在で記入してください。
4. 教育方法の特例適用希望欄は、現職教員等出願者が第2年次の教育方法について特例適用希望の有無を記入してください。高度教職実践専攻は適用されません。
5. 短期履修学生制度適用欄は、高度教職実践専攻志望者のみ記入してください。
6. 受験科目欄は、Ⅶ. 選抜方法の(4)学力検査科目及びその注意書きを参照して記入してください。
①外国語科目欄は、英語以外を選択した場合のみ記載してください。
②専門科目欄は、選択した科目を記入してください。必須科目は記入する必要はありません。
7. 出願後は、志望専攻・コース・分野及び受験科目の変更はできません。

| | |
|-----------|------------|
| 区分 コード | 3010999990 |
|-----------|------------|

| | |
|---------------------------|---|
| 受付 金融 機関 出納 印 | 1 |
|---------------------------|---|

※金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く)の出納印のない場合は無効となります。

(A日程・B日程・C日程)

平成29年度香川大学大学院教育学研究科

受験票

| | |
|------|-----------------|
| 受験番号 | |
| ふりがな | 性別 |
| 氏名 | 男・女 |
| 志望 | 専攻 コース 分野 |

学力検査日

A日程：平成28年9月10日（土）
B日程：平成29年1月28日（土）
C日程：平成29年3月4日（土）

全日程とも
外国語試験 9:00～10:00
専門科目試験 10:20～12:20
口述試験等 13:30～

※実技がある分野（書道、音楽）では、この時間から実技を行います。

1. 受験に関しては、本票を必ず持参してください。
2. 該当する試験日程を○で囲んでください。
3. 受験上の注意については、裏面に記載しています。
4. 受験番号欄は記入しないでください。

(A日程・B日程・C日程)

平成29年度香川大学大学院教育学研究科

写真票

| | |
|------|-----------------|
| 受験番号 | |
| ふりがな | 性別 |
| 氏名 | 男・女 |
| 志望 | 専攻 コース 分野 |

写真貼付

出願前3か月以内に撮影したもの
(縦4cm×横3cm)

写真の裏に氏名を記入しておくこと。

(注) 受験番号欄は記入しないでください。

金融機関で切り離して下さい

受験者保管用 (大切に保管してください)

(受付金融機関→依頼人)

電信扱

2017年度

検定料 領収書

| | | | |
|--------------------|-------------|---------|--|
| 振込金額 (検定料) | ¥ 3 0 0 0 0 | 手数料 | |
| 振込先銀行 (○で囲む) | 預金種別 | 口座番号 | |
| ① 百十四銀行 本店 | 普通預金 | 2785280 | |
| ② 香川銀行 本店 | 普通預金 | 2155989 | |
| ③ 三菱東京UFJ銀行 高松中央支店 | 普通預金 | 0547300 | |
| 受取人 | 国立大学法人香川大学 | | |
| 区分コード | 3010999990 | | |
| フリガナ | 香川大学 | | |
| 志願者氏名 NAME | | | |

金融機関で切り離して下さい

1. 金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く)の出納印のない場合は無効となります。
2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたものは無効となります。

受付金融機関出納印

印紙

2

金融機関で切り離して下さい

香川大学

(受付金融機関保管用)

検定料 振込依頼書 (入金票)

香川大学

【志願者の方へお願い】

1. 郵便局・ゆうちょ銀行を除く金融機関から振り込みして下さい。(ATMからの振込は不可)
2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたもの、金融機関の出納印のないものは無効となります。
3. 一旦納入(振込)された検定料は返還できません。

振込受付期間 A日程 平成28年7月15日(金)～平成28年7月29日(金)
B日程 平成28年12月26日(月)～平成29年1月11日(水)
C日程 平成29年2月6日(月)～平成29年2月17日(金)

依頼日 年 月 日

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-----------------------------------|---------|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 振込先銀行 (○で囲む) | 預金種別 | 口座番号 | 金額 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 |
| ① 百十四銀行 本店 | 普通預金 | 2785280 | ¥ 3 0 0 0 0 | | | | | | | | |
| ② 香川銀行 本店 | 普通預金 | 2155989 | | | | | | | | | |
| ③ 三菱東京UFJ銀行 高松中央支店 | 普通預金 | 0547300 | | | | | | | | | |
| 受取人 | コクリツダイガクホウジンカガワダイガク 国立大学法人香川大学 | | | | | | | | | | |
| 受取人 | 受付金融機関へ → この部分を必ず打電して下さい | | | | | | | | | | |
| 区分コード | 3010999990 | | | | | | | | | | |
| 志願者のフリガナ | | | | | | | | | | | |

金融機関で切り離して下さい

依頼人(志願者)

| | |
|---------------|---|
| 志願者氏名 NAME | |
| 志願者住所 ADDRESS | |
| 電話 () | - |

- ⇐ 受付金融機関へお願い
1. 打電については、依頼人名の前に区分コードを打電して下さい。

受付金融機関出納印

3

手数料ご依頼人負担

【受験上の注意について】

1. 集合時間について
 - ・外国語試験から受験する場合 8時45分
 - ・専門科目試験から受験する場合 10時05分
 - ・口述試験等から受験する場合 13時20分
2. 外国語試験・専門科目試験について
 - 1) 試験の開始及び終了は、監督員の指示によります。
 - 2) 試験開始に遅刻した場合は、各試験開始後15分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
 - 3) 不正があった場合は、直ちに退室を命じます。
 - 4) 試験室では、筆記具、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）以外の携行品は机の下に置いてください。

なお、外国語の試験において辞書の持ち込みを可としている専攻・コース・分野については、辞書の使用が可能です。
 - 5) 携帯電話、スマートフォン等の電源は切っておいてください。
 - 6) 選択科目等は、願書に記載した科目を受験してください。
 - 7) 試験終了の指示があったら直ちに筆記を止め、問題用紙・解答用紙等を試験開始前のように、各自封筒に納めて監督員の回収を待ってください。
 - 8) 入学試験についての詳細は、検査室に掲示します。

履 歴

氏 名 _____

| 区分 | 年 月 日 | 事 項 |
|-----------------------|----------------|-----|
| 学 歴 | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| 職 歴 | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |
| 特 技 資 格 等 | 昭和 平成 年 月 日 | |
| | 昭和 平成 年 月 日 | |

- 【注】 1. 学歴は、高等学校卒業から記入し、大学は学部・学科（課程・専攻）名まで記入してください。ただし、外国人留学生は、小学校入学から記入してください。
2. 学歴、職歴等が記入しきれない場合は、用紙をコピーして記入するか、別紙に記入するかしてください。
3. この履歴に、虚偽の事項を記入し、また、当然記入すべき事項を記入しなかったことが判明した場合には、入学許可を取り消すことがあります。

研究分野調書

(学校教育専攻・教科教育専攻志望者用)

香川大学大学院教育学研究科

| ふりがな | | | 専攻 | ※ 受験番号 |
|-------------|----------|----|-----|--------|
| 氏名 | | 志望 | コース | |
| | 希望する研究分野 | | 分野 | |
| 希望する研究内容の概要 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※印欄は記入しないでください。

研究業績調書

(学力代替措置希望者用)

香川大学大学院教育学研究科

| ふりがな | | 専攻 | ※ 受験番号 |
|--|---------------------|-------|---------------------|
| 氏名 | 志望 | コース | |
| | | 分野 | |
| 著書, 論文, 研究報告・発表・作品等の題目 (主要なもの5点以内) ○共同執筆のものは, 分担執筆した部分を明示すること。 ○雑誌等の論文の場合は, 雑誌名, 巻号, ページを論文タイトルの次に記入すること。 | 発行機関 発行所 発表会場 | 発表年月日 | 左記の著書等の概要 (各200字以内) |
| | | | |

- 備考
- ※印欄は記入しないでください。
 - この調書に記入した研究業績については, 現物又はその写し(教科教育専攻芸術・スポーツ系教育コース美術分野にあつては, 作品の写真)を併せて提出してください。
 - 教科教育専攻言語系教育コース国語分野で書道を志望する者は, 楷・行・草(又は仮名)のそれぞれについて, 全紙以上の作品(1点は臨書)を提出してください。

| <p>著書，論文，研究報告・発表・作品等の題目 (主要なもの5点以内)</p> <p>○共同執筆のものは，分担執筆した部分を明示すること。 ○雑誌等の論文の場合は，雑誌名，巻号，ページを論文タイトルの次に記入すること。</p> | <p>発行機関 発行所 発表会場</p> | <p>発表年月日</p> | <p>左記の著書等の概要 (各 200 字以内)</p> |
|---|------------------------------|--------------|------------------------------|
| | | | |

研究計画書

(学力代替措置希望者用)

香川大学大学院教育学研究科

| ふりがな | | | 専攻 | ※ 受験番号 |
|---------------|--|----|-----|--------|
| 氏名 | | 志望 | コース | |
| | | | 分野 | |
| 入学後の研究テーマ及び内容 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※印欄は記入しないでください。

平成 年 月 日

香川大学大学院教育学研究科長 殿

所属長氏名

印

受 験 承 諾 書

下記の者が、貴研究科を受験することを承諾します。

記

職 名 _____

氏 名 _____

香川大学長 殿

平成 年 月 日

教育学研究科

専攻

受験番号※

氏 名

印

保証人氏名

印

私は、大学院教育学研究科において下記のとおり長期履修学生の申請を致します。

長期履修学生申請書

| ふりがな | | 男 ・ 女 | 専攻・コース・分野 |
|--------------------------|-----------------|-------------|-----------------|
| 氏名 | | | 専攻 コース 分野 |
| 生年月日 | 年 月 日 | | |
| 現住所 | 〒 TEL (-) | | |
| 勤務先 (職種) | | | |
| 勤務先所在地 | 〒 TEL (-) | | |
| 修学予定年数 | 年 (修了予定 平成 年 月) | | |
| 長期履修希望 理由 (具体的に記入) | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※印欄は記入しないでください。

香川大学長 殿

平成 年 月 日

教育学研究科

専攻

受験番号※

氏 名

印

保証人氏名

印

私は、大学院教育学研究科において小学校教員免許取得コース受講および長期履修学生の申請を致します。

小学校教員免許取得コース受講・長期履修学生申請書

| | | | |
|--------------------------------------|--------------------------|-------------|-----------|
| ふりがな | | 男 ・ 女 | 専攻・コース・分野 |
| 氏名 | | | 専攻 |
| 生年月日 | 年 月 日 | | コース 分野 |
| 現住所 | 〒 TEL (-) | | |
| 教員免許状の取得（取得見込）状況 （有の場合は、下記に種類を記入） | 有 ・ 無 | | |
| 学校教諭 | 種免許状（ ） | 取得・取得見込 | |
| 学校教諭 | 種免許状（ ） | 取得・取得見込 | |
| 学校教諭 | 種免許状（ ） | 取得・取得見込 | |
| 幼稚園教諭 | 種免許状 | 取得・取得見込 | |
| 特別支援学校教諭 （養護学校教諭） | 種免許状 | 取得・取得見込 | |

記入上の注意

- ※印欄は記入しないでください。
- 小学校教諭免許状取得コースの受講を希望する者は、この申請書を提出すること。
- 事項を併記してあるものは該当事項を○で囲むこと。
- 取得（取得見込）免許状の記入欄の（ ）は、中学校又は高等学校の教科名を記入すること。

(出願資格(8)(9)により出願する者のみ)

香川大学大学院教育学研究科入学資格審査申請書

| | | | | | | |
|----------|----------------|----|---|-----------------------|----|-----|
| ふりがな | | | | 専攻 | | |
| 氏名 | | 志望 | | コース 分野 | | |
| 生年月日 | 昭和・平成 | 年 | 月 | 日生(満歳) | 性別 | 男・女 |
| 現住所 | 〒 TEL () - | | | | | |
| 通知を受ける場所 | 〒 TEL () - | | | | | |
| 履 歴 | | | | | | |
| | 年 | 月 | 日 | 事項(学歴は最終学歴から記入してください) | | |
| 学歴 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 職歴 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 資格等 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 志望理由 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

(短期履修学生制度希望者用)

香川大学長 殿

教育学研究科 高度教職実践専攻

受験番号※

氏 名

私は、大学院教育学研究科において、下記のとおり短期履修学生制度に申請いたします。

短期履修学生申請書

| | | | |
|----------------------|---|-----|----------|
| ふりがな | | 男・女 | 専攻 |
| 氏名 | | | 高度教職実践専攻 |
| 生年月日 | 年 月 日生 | | |
| 現住所 | 〒 TEL () - | | |
| 勤務先 | | | |
| 勤務先所在地 | 〒 TEL () - | | |
| 修学予定年数 | 1 年 (修了予定 平成 年 月) | | |
| 短期履修希望理由 (具体的に記入) | ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- | | |

※印欄は記入しないでください。

研究業績調書

(短期履修学生制度希望者用)

氏名 ()

| 重点事項 | 事項 | 年月日 | 概要 (本人の役割も含む) |
|------|----|-----|---------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

備考：主な研究業績（校内授業研究，教育研究会での発表，研究論考，教育委員会・教育センター
一等主催の提案発表等）を新しいものから記載し，その上で，特に重要なもの3件について，
重要事項欄に重要な順に番号（1～3）をつけてください。また，番号をつけた事項
において，修得した資質能力について裏面に論述してください。

研究業績調書

○修得した資質能力について（各400字程度）

重点事項 1

事項（）

重点事項 2

事項（）

重点事項 3

事項（）

職務実績調書

○修得した資質能力について（各400字程度）

重点事項1

所属及び職名・分掌（）

重点事項2

所属及び職名・分掌（）

重点事項3

所属及び職名・分掌（）

教育委員会による推薦書

香 川 大 学 長 殿

_____教育委員会

_____印

下記の者は、これまでに学校現場において十分な職務実績・研究実績を有しており、貴研究科高度教職実践専攻（教職大学院）での短期履修学生制度を適用するに相応しい者として認め、推薦いたします。

記

所属（学校名）_____

氏名：_____

(短期履修学生制度希望者用)

誓 約 書

香 川 大 学 長 殿

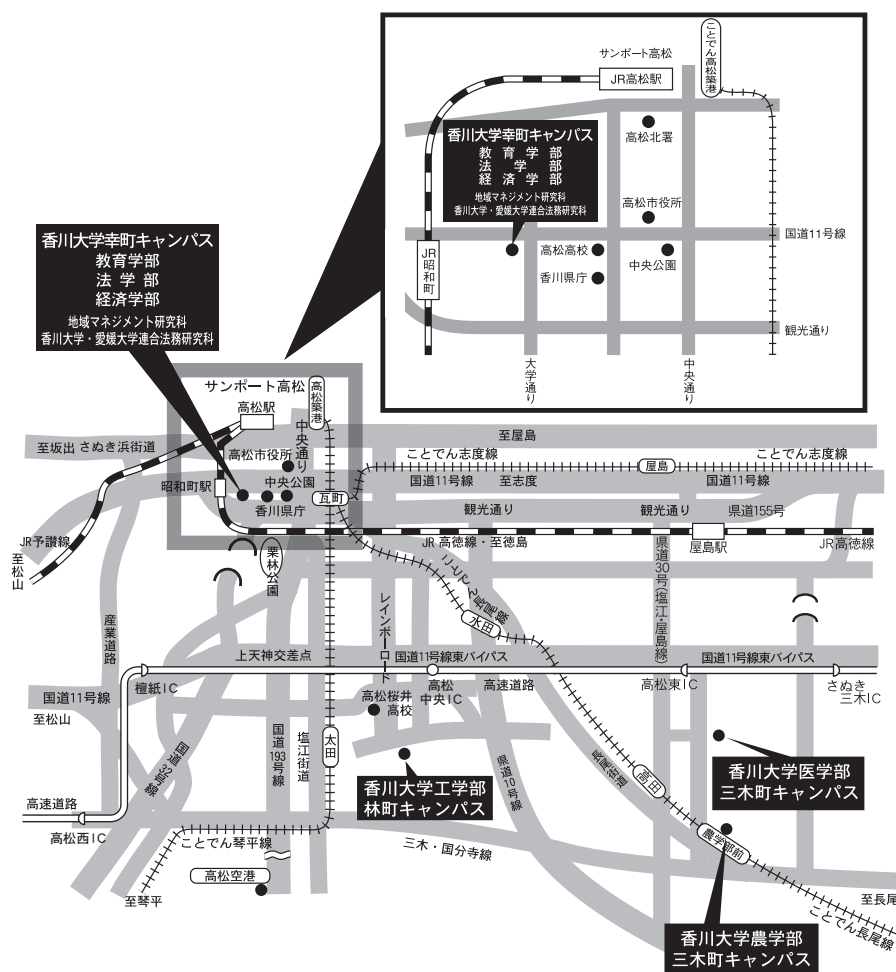
氏名

私は、香川大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）の短期履修学生制度の適用を認定された場合、必ず下記プログラムを受講することを誓います。

記

- ・ 教職大学院修学前プログラム
- ・ 教職大学院フォローアップ・プログラム

香川大学試験場案内図



教育学部・法学部・経済学部・地域マネジメント研究科

| | | |
|------|---------|---|
| J | R | 高徳線「高松駅」→「昭和町駅」下車 徒歩5分(東へ250m) |
| バ | ス | J R 高松駅発 (高松駅前①番のりば) ことでんバス まちなかループバス 西廻り 「高松駅」→「香川大学教育学部前」下車すぐ |
| | | 高松空港発 高松空港リムジンバス→「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車 徒歩10分～15分(西へ750m) |
| タクシー | J R 高松駅 | →香川大学 約10分 約800円 |

(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

入学試験等に関する照会先

香川大学入試グループ TEL (087) 832-1182
〒760-8521 高松市幸町1番1号

香川大学教育学部学務係 TEL (087) 832-1404
〒760-8522 高松市幸町1番1号

香川大学ホームページ <http://www.kagawa-u.ac.jp/>

郵便切手を貼
付してくださ
い。持参の場
合は不要です。

速 達

7 6 0 8 5 2 2

高松市幸町一―一

香川大学

教育学部学務係行

簡易書留速達

大学院教育学研究科（A日程・B日程・C日程）入学願書在中

郵便局
引受番号

| | | |
|-------|----|-----------|
| 志望専攻等 | 専攻 | コース 分野 |
| 差出人 | 住所 | 〒 |
| | 氏名 | |

速 達

362円分の切
手を貼付し
てください。



速
達

受
験
票
在
中

様

平成 年 月 日

香川大学 教育学部 学務係

〒760-8522

高松市幸町1-1

電話 087-832-1404

FAX 087-832-1414